

# 「住民合意のない区画整理」反対ニュース

羽村駅西口区画整理反対の会 2020(R2)12/24 No.262

連絡先：山崎 陽一・神屋敷 和子

## 東京都に135名の「意見書」を提出しました

「公報はむら」12月1日号に「東京都 都市計画案の縦覧」意見書受付の掲載があり、調べたところ、羽村駅西口区画整理についての記載がありました。提出期限が12月16日迄と、時間も限られていましたが、135名で事業の問題点を指摘した「意見書」を提出しました。

東京都 都市整備局都市計画課 様

2020年12月

### 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針(案)に対する「意見書」

#### 主 旨

方針案のP・92に(羽村・小作)「羽村駅西口周辺では、土地区画整理事業による交通広場、都市計画道路、公園などの整備により、安全性、快適性及び利便性が向上し、商業機能が集積した市の玄関口としてふさわしい駅前市街地を形成」と掲げられています。

しかし、羽村駅西口土地区画整理事業は「必要性・実現性・住民の合意」いずれもが欠けており、関係権利者ら120名が提訴。2019年2月には、東京地方裁判所から「違法・取消し判決」が羽村市及び参加人の東京都に下されました。よって削除を求めます。

#### 理 由

① 本地区は東京ドーム10個分の広さの、基盤整備された既成市街地です。そこに広い道路(道路率14%から30%に倍増)をつくるため、総事業費436億円で1,000戸の家を取壊しや移動させる事業は、必要性がないばかりか、貴重な縄文埋蔵文化財や多摩川を抱く自然環境を破壊する行為です。現道を活かした修復型のまちづくりに転換すべきです。

また、樹木伐採、緑地のコンクリート化、家屋取壊しや再築は、膨大なCO<sub>2</sub>を発生させ、国連の「持続可能な開発目標SDGs」にも反する事業です。

② 事業費の市費負担220億円は羽村市の年間予算と同額。市財政は危機的状況にあり経常収支比率は過去4年、100%超え。しかも、通常工程なら79年かかる事業を、集団移転で短縮して50年。さらなる短縮を図って33年の事業期間にしたが、18年目の進捗率は17%。完了は不可能です。暫定整備した駅前には空地で夜は薄暗いまま。仮住まい13年目を迎える地権者もあり、商業施設の集積という見通しも全くありません。

③ 1998年(H10)の都市計画決定前から住民過半数の反対署名が2度も提出され、事業計画決定後も、中止や見直しが求められており、住民合意も得られていません。



## 住民の方々の声



公社職員が何度も訪ねてくる。事業の必要性も感じない、市や公社のやり方も卑劣だ。多くの住民も反対している。  
「やるなら、うちは一番最後にしてくれ！」と言った。



移転先に家を建て、今住んでいる家から一度の引越で済むと思っていたら、造成するので家を壊して更地にしてほしい、仮住まいしてほしいと言われた。仮住まいや2度の引っ越しは命を削る。  
今のままで問題ないのに、段差を付ける必要ないのに、なんて無駄なことをするのだろう！　なんて住民に迷惑をかけるやり方だろう！



公社職員が何度もくる。この事業に納得していない。税金の無駄遣いだ。コロナの時代に、やらなければいけないことがたくさんあるはずだ・・・。「交渉にはもう来ないでくれ。」と言いました。



人口減少で土地余りが始まっている時代に、住宅が建ち並ぶ既成市街地で、平均22%もの土地を無償提供（減歩）させ、庭や宅地を削り、家々を密集させる区画整理は時代にそぐわない。愚行です。

## ☆ 例年2月に行っている「反対の会の総会」について

コロナ禍が続いているため、今年度は総会を行えません。

事業反対や見直しを求める皆様には、活動報告や今後の活動の予定等を、お届け致しますので、ご意見をお寄せ下さい。

### 訃報

反対の会・世話人の山下一夫さん(享年80歳)が、12月10日、心不全のため逝去されました。国際電気を退職後、2010年から世話人となり、裁判では原告団の代表を務め、昨年2月、東京地方裁判所で、「区画整理事業の違法・取消し」の判決を得ました。その後も、区画整理審議会委員を務めながら判決の確定を願っていらっしゃいました。  
心よりご冥福をお祈り致します。

参照：12月23日の新聞に市長選の記者会見の記事が掲載されました

一 区画整理事業も「再検証する」と、橋本氏 一 2020年12月23日 朝日新聞

羽村市長選に  
橋本氏出馬へ  
来年3月28日投開票

来年3月28日投開票の羽村市長選に、市議会議長の橋本弘山氏(67)が無所属で立候補することを表明した。22日に記者会見し「市政に新しい視点が必要。厳しい財政状況の健全化に努め、変えたほうがいいところは変えていく」などと述べた。市長選へは5期目の並木心市長(76)が出馬を表明している。

橋本氏は「20年続く現市政に閉塞感がある」と指摘し、訴訟も起きているJR羽村駅西口の土地区画整理事業も「再検証する」とした。市長選は、ここ5回のうち3回、2013年、17年は連続無投票で、「無投票を避けたい思いも出馬理由の一つ」とも語った。